

# 施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
教育委員会	中野 伸宏	63 - 7892 (文化生涯学習室)

施策体系	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本施策	3	市民文化の創造
	施策	2	<b>文化資源</b>

## 1. 施策の基本方針

Plan

- ・文化遺産や地域資源を市民共有の財産として大切に保護し、次世代に継承します。
- ・地域で育まれた文化遺産等の地域資源を保存、活用し、文化の薫る魅力的で活力あるまちづくりに取り組みます。
- ・文化財に対する理解を深めるため、イベントの開催などを通じて文化財や文化的資源にかかる情報提供を進め、各種団体の活動を支援します。
- ・貴重な歴史、文化等を後世に継承するため名張市史の編さんを進めます。

## 2. 目標

### 重点目標

Plan

- ・長期的な年次計画に沿って、文化財の多角的な活用を十分に検討して事業展開を図り、新たな文化財指定や、指定文化財の維持管理を行い、地域のシンボルとしての活用を図ります。
- ・国史跡美旗古墳群周辺公有地の適切な管理を行い、雇用の創出も図ります。
- ・まちづくり組織とも連携を深め、地域文化財として活用を図ります。

### 目標達成に向けた課題

Plan

- ・文化財に関連する事業については、国、県の補助事業を受けているが、補助事業の採択率が低くなり、市財政の負担が重くなってきています。
- ・既存の文化財施設については、積極的な利活用が求められています。
- ・市史編纂事業については、市の予算での財源確保が難しく、刊行年度の目標が繰り延べられています。

### 施策指標(目標)及び達成状況

Plan

Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
名張の歴史を知っている市民の割合(歴史テスト認知率) (%)	目標	-	-	-	-	42.0	43.0	
	成果	38.4	32.6	33.6	32.9			0%
夏見廃寺展示館や名張藤堂家邸跡を活用した市民団体主催行事への参加者数【延べ値】 (人)	目標	-	-	-	-	3,700	6,700	
	成果	497	797	907	1,157			11%
歴史講座等を通じて、文化財保護の重要性を理解できたと感じた参加者の割合 (%)	目標	-	-	-	-	72.0	73.0	
	成果	71.0	60.2	70.0	71.0			0%

3. 取組内容

課題解決への取組内容

*Do*

- ・市史の刊行については、当面は基礎資料の収集に努め、刊行にかかる種々の財源確保を検討します。
- ・文化資源の活用については、地域文化財としての位置づけで地域づくり組織との連携協力で推進していきます。
- ・文化財施設の活用については、学校とも連携を図り、積極的な利用促進を図ります。

地域等との連携、協働に向けた取組

*Do*

- ・文化財の普及啓発については、市民団体との協働はもちろんですが、施設の利活用の推進については市や県の観光部局や観光協会等との連携、協力を得て行っていきます。
- ・まちづくり組織と連携した歴史講座等の開催に協力し「市民大学講座なばり学部」として積極的な広報に努めています。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 7 事業)

*Do*

*Check*

事務事業シート番号	事業名・担当室名		事業費 (単位：千円)		事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度
			2010 (H22)	2011 (H23)			
1005	市史編さん事業	総務室（市史編さん担当）	7,402	2,929	継続（拡大）	B	B
1165	美旗古墳群緊急除草作業（緊急雇用創出事業）	文化生涯学習室	7,350	6,300	H23完了	B	C
1167	埋蔵文化財発掘調査事業	文化生涯学習室	764	0	継続（現行）	B	B
1175	市史史料整理事業（緊急雇用創出事業）	総務室（市史編さん担当）	-	1,654	H24完了予定	B	B
1191	美旗古墳群試掘調査事業（緊急雇用創出事業）	文化生涯学習室	-	2,100	H23完了	B	B
4055	赤目の峡谷災害復旧事業	文化生涯学習室	7,289	2,634	H23完了	B	-
5102	文化財保護費	文化生涯学習室	1,224	1,639	継続（拡大）	B	B
合計（単位：千円）			24,029	17,256			
小計（うち、一般会計分）			24,029	17,256			
小計（うち、特別会計・企業会計・組合会計分）			0	0			

5. 部局による施策評価

*Check*

評価
計画どおり事業推進
成果・評価理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の維持管理については、国、県の補助事業を活用し取り組んでいます。</li> <li>・まちづくり組織の地域ビジョンに挙げられる地域文化財の活用について、情報発信をいたしました。</li> </ul>

6. 今後の施策の方向性、改善方法

*Action*

- ・今後とも、地域連携、観光連携を推進し、積極的な文化財の広報啓発や、地域文化財の情報提供等に努めていきます。
- ・文化財施設の活用促進も同様に、他のセクションとも情報共有を図りながら、推し進めてまいります。

7. 総合評価

*Action*

評価
C 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われているものの、いくつかの課題、改善の余地が見受けられる
評価理由及びその他（意見）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な施策展開の検討が急務である。</li> <li>・藤堂家邸や夏見廃寺のPR等が必要である。</li> </ul>